

令和4年度さいたまマッチングファンド助成金一般助成事業 評価表

資料 4 - 2 - 6

団体名(所管課名) 一般社団法人Happy-Casket

事業名 子育て応援サロン 感覚遊びを楽しもう～Sensory Play with your kids!

事業の目的 子育て支援に関する情報提供などを行うことにより、子育てに対する不安や負担を軽減し、区内の子育て支援の充実を図り、もって児童虐待の防止する

事業の目標 (1)保護者に向けて地域で自分らしく生き生きと過ごすことができるよう、地域の情報を発信すること。
(2)初めての場所で初めての子育てでの保護者の不安の解消や孤立化を防ぎ、同じ立場にある仲間作りと相談できる居場所作りを行うこと。

該当する所に○をつけてください

項目	評価の視点	評価			評価理由など
		充分できた	概ねできた	充分ではなかった	
1 事業の目的と目標の設定	協働事業の目的・目標は、両者が共有・設定することができましたか。	○			毎月の開催時に顔を合わせる事で次月の改善点や当日の感想の共有が確実にできた
2 事業の成果	事業を実施したことで、地域や社会の問題を解決する成果はありましたか。 <small>(成果:協定書に設定した目標の達成、参加人数等の事業の結果を表す数値)</small>	○			保護者が市に何を求めているのか、リアルな声を直接聞くことができた
	市民が市民活動に触れる、参加の機会をつくるなど、地域の市民活動の活性化につながりましたか。	○			公民館や児童施設を紹介する事で市での活動に興味を持ち、自ら参加しようという意識を持ってもらう事が出来た
3 協働事業の効果	協働により事業を実施したことで、事業に良い効果はありましたか。 <small>(良い効果:互いの組織への良い影響、気づきやノウハウの獲得)</small>	○			廃材などの資材を市の方々から提供していただいたり、今まで理解していなかった市の活動などを知ることができた。
4 市民活動団体と担当所管課との連携	協働事業には、互いに情報交換し、連携して取り組むことができましたか。	○			市の子育て支援についての情報をいただいたり、子育てについての知識の提供をさせていただいたりする事ができた。また、互いに何が参加者にとって良いのかの意見交換も毎回できた。
5 事業の適切な取組	事業実施にあたり、参加者や関係者等へ適切な声かけなどのフォローに努め、今後も繋がりが持てるきっかけをつくることができましたか。	○			参加者には、1コインで参加できる様々なレッスンのご案内をしている。また、サロン参加者から要望で土曜日に子育て応援サロンと類似の内容の集まり(有料)を開催する事になった。
★事業を振り返り、気づいたこと・感じたことを自由にお書きください。 (例) ・協働して感じたこと ・マッチングファンドの良い点、改善点など	昨年から引き続き浦和区支援課様との協働事業を開催させていただいたが、昨年よりも互いに意見交換し進めていけたため回を重ねる毎に良いものになっていった。市と市民が同じターゲットに向けて幸福感を提供する事業は開催サイド、参加者サイドもお互いを思いあい充実した時間を過ごす事ができるのだ、と実感した。このような事業がさらに増える事を今後の協働事業に期待したい。				

令和4年度さいたまマッチングファンド助成金一般助成事業 評価表

団体名(所管課名) 一般社団法人Happy-Casket (浦和区支援課)

事業名 子育て応援サロン 感覚遊びを楽しもう
～Sensory Play with your kids!

事業の目的 子育て支援に関する情報提供などを行うことにより、子育てに対する不安や負担を軽減し、区内の子育て支援の充実を図り、もって児童虐待の防止する

事業の目標 (1)保護者に向けて地域で自分らしく生き生きと過ごすことができるよう、地域の情報を発信すること。
(2)初めての場所で初めての子育てでの保護者の不安の解消や孤立化を防ぎ、同じ立場にある仲間作りと相談できる居場所作りを行うこと。

該当する所に○をつけてください

項目	評価の視点	評価			評価理由など
		充分できた	概ねできた	充分ではなかった	
1 事業の目的と目標の設定	協働事業の目的・目標は、両者が共有・設定することができましたか。	○			2年目となる事業だったので、事業開始前に改善点を共有する話し合いの場を設けた。
2 事業の成果	事業を実施したことで、地域や社会の問題を解決する成果はありましたか。 (成果:協定書に設定した目標の達成、参加人数等の事業の結果を表す数値)		○		より多くの子育て世帯の孤立化を防ぐことができた。
	市民が市民活動に触れる、参加の機会をつくるなど、地域の市民活動の活性化につながりましたか。		○		月2回の子育て応援サロンに多くの市民が参加した。
3 協働事業の効果	協働により事業を実施したことで、事業に良い効果はありましたか。 (良い効果:互いの組織への良い影響、気づきやノウハウの獲得)	○			協働で事業を行うことで参加者に詳しく浦和区の子育て情報及び地域情報を提供することができた。
4 市民活動団体と担当所管課との連携	協働事業には、互いに情報交換し、連携して取り組むことができましたか。	○			随時、情報共有し連携できた。
5 事業の適切な取組	事業実施にあたり、参加者や関係者等へ適切な声かけなどのフォローに努め、今後も繋がりが持てるきっかけをつくることができましたか。	○			参加者に職員から声掛けをし、相談対応することで、今後も支援ができる繋がりを作ることができた。
★事業を振り返り、気づいたこと・感じたことを自由にお書きください。 (例) ・協働して感じたこと ・マッチングファンドの良い点、改善点など	・参加者の声を聴くことで、浦和区の子育て情報及び地域情報が知られていないことがよくわかり、事業を通して効果的な情報発信をすることができた。 ・母親同士の交流の場を提供することができた。				

様式第7号（第11条関係）

令和4年度さいたま市市民活動及び協働の推進助成金実績報告書

令和5年3月29日

（あて先）

さいたま市長

所在地 さいたま市浦和区常盤 3-10-6

団体名 一般社団法人 Happy-Casket

代表者氏名 保科恭代

令和5年3月27日付け市市協第4-54号で交付決定の通知を受けた令和4年度さいたま市市民活動及び協働の推進助成事業（一般助成事業・団体希望助成事業）が完了したので、さいたま市市民活動及び協働の推進助成金交付要綱第11条の規定により、関係書類を添え、下記のとおり報告します。

記

- | | | | |
|---|--------------------------|----------|---|
| 1 | 交付決定額 | 金 47,862 | 円 |
| 2 | 精算額 | 金 47,862 | 円 |
| 3 | 事業実施報告書 | | |
| 4 | 事業収支計算書 | | |
| 5 | 添付書類 | | |
| | （1）支出を証する書類 | | |
| | （2）事業の成果物、写真、その他事業に関する資料 | | |





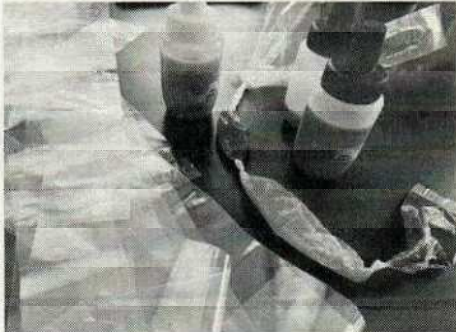
令和 4 年度マッチングファンド事業実施報告書



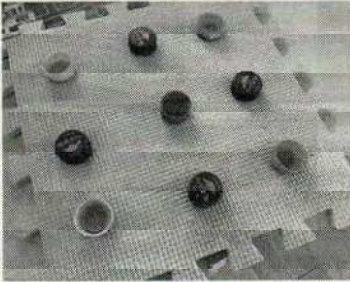
団体名	一般社団法人 Happy-Casket
-----	---------------------



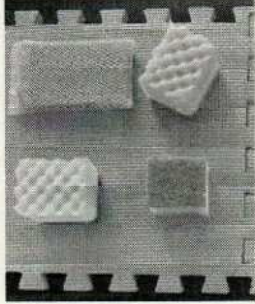
事業名称	子育て応援サロン 感覚遊びを楽しもう～Sensory Play with your kids!
実施期間	令和 4 年 5 月～令和 5 年 3 月
総事業費	47,862 円（内訳は別添事業収支計算書参照）
内 助成金交付申請額	47,862 円
事業の目的	*計画書の「1 現状における課題と事業の目的」（この事業は何を目的に設定しましたか？）の記載事項を転記してください 保護者が気軽に定期的集える居場所作りを提供し、保護者の不安の解消や孤立化を防いでいきます。
	事業の具体的な内容
いつ	浦和区支援課様開催予定月以外の月に各月 1～2 回（第 1 木曜日）開催
どこで	一般社団法人 Happy-Casket ワークショップスペース
だれに	浦和区在住で初めて子育てをする方とその子ども及び浦和区に転入後 6 か月以内の方とその子ども
なにを	対象者への子育てに関する情報と交流の場の提供
どうした	開放時間：第 1 木曜日 10:00～11:30 浦和区の様々な情報提供の他、乳幼児に大切な感覚を養う「感覚遊び」をおこない、お子さんをお友達と遊ばせたり、ママ友作り、講師に質問など楽しい時間を過ごしてもらおう。「ここに居場所がある」という安心感を作る事を意識し開催した。
	（詳細な内容）別紙のとおり
	成果
	*事業の結果を表す数値を記載ください（例：参加人数等）。 【各回お申込み及び参加人数】
事業の実績	8/4：9 組 18 名お申込み（新型コロナウイルス感染症拡大のため中止） 9/15:8 組 16 名お申込み 全員参加 10/6:5 組 10 名お申込み 全員参加 10/20:5 組 10 名お申込み 全員参加 11/10:2 組 4 名お申込み 全員参加 11/17:1 組 2 名お申込み 全員参加 12/1:6 組 12 名お申込み 全員参加 12/15:2 組 4 名お申込み 1 組 2 名参加 1/12:3 組 6 名お申込み 全員参加 1/19:4 組 8 名お申込み 全員参加 2/2:5 組 10 名お申込み 3 組 6 名参加 2/16:10 組 20 名お申込み 全員参加 3/2:8 組 16 名お申込み 4 組 8 名参加 3/16:7 組 15 名お申込み 6 組 13 名参加 【合計（延べ人数）】 お申込み：75 組 169 名 実参加：58 組 117 名
	効果
	*事業を実施することで、地域や市民にどのような良い結果をもたらしたか記載ください。 途中より複数回の参加を可能にしたことにより、仲間作りができていたようだ。 また、予算削減の為にプログラムを変更し支援課の皆さんとの交流をメインに持ってきたことで、保護者と支援課様の距離が近づいたように感じる。 感覚遊びにはみなさん興味をもっていただき、とても真剣に話を聞いてくれ、「帰りに 100 均に寄ってから帰ります！」と言ってくれる方も多くいた。（当初の予定とは変更し、紹介だけの物も多くあったため）

	<p>保護者が話す時間も多く持ち、他の方とも共有することで悩みも解消に近づいた方も多かったようだ。</p>
<p>事業の評価</p>	<p>* 事業実施にあたって、課題となった点、工夫した点、良かった点、苦労した点等、評価を記載ください。</p> <p>今回は、実施時間よりも実施後のマットや知育玩具の消毒にとっても時間がかかったが、「全部消毒しているので大丈夫ですよ」と一声かけることで保護者も安心感が持てたようだ。</p> <p>感覚遊びの比重が少なくなった分、みんなで話す時間が増え、「今」必要な事、「今」困っている事などがリアルに伝わってきた。また、コロナ禍ですずっと家にいた、という方が多かったが、友達作りにも一役買えたようだ。</p> <p>経費削減のため、「これはお家にあるものでやってください」という場面が何回かあった。家で完成しているのかの不安があった。</p> <p>今回は当初の計画とは違うものになっている箇所も多くあったが、浦和区支援課様にご協力いただき楽しく開催する事ができた。</p>
<p>今後の展開</p>	<p>* この事業は、次年度以降どんな事業展開を考えていますか？</p> <p>※翌年度以降の継続性、協働や自立事業への見込みなどについて記入してください。</p> <p>今後はこの講座を1コイン講座の1つとして開催することにした。これに伴い、母子で気軽に参加できる1コイン講座を4月より増やし気軽に来れる場所として存在させていくようにする。</p> <p>また、子連れで参加できるお茶会や子育てに関してゆるく話すインスタライブの配信も予定している。</p>

事業の内容		
実施時期	労力換算番号	実施内容
令和4年 6月10日・ 17日	①	チラシ・プログラム作成に係る打ち合わせ
令和4年7 月1日-7月 10日	②	周知に係る打ち合わせ（チラシ配布作業含む） チラシ配布：ポスティング（近隣住宅）、公民館3ヶ所、市民活動サポートセンター ホームページ・インスタ等 SNS 告知開始
令和4年7 月12日	③	8月開催分打ち合わせ及び準備
令和4年8 月4日	③	9月開催分打ち合わせ及び準備
令和4年9 月15日	④	開催当日準備及びサロン開催 8組16名お申込み 全員参加 《センサリーボトル作り》 
令和4年9 月15日	⑤	9/15分振り返り 作ったサンプルは次月以降に自由遊び用のおもちゃとして出すことにする。
令和4年9 月17日	③	10月開催分打ち合わせ及び準備

<p>令和4年10月6日</p>	<p>④</p>	<p>開催当日準備及びサロン開催 5組10名お申込み 全員参加 《センサリーバッグ作り》</p> 
<p>令和4年10月6日</p>	<p>⑤</p>	<p>10/6分振り返り 前月のおもちゃに関しては、作り方の説明も加えることに決定</p>
<p>令和4年10月20日</p>	<p>④</p>	<p>開催当日準備及びサロン開催 5組10名お申込み 全員参加 《センサリーバッグ作り》</p>
<p>令和4年10月20日</p>	<p>⑤</p>	<p>10/20分振り返り 作ったもの以外もできるだけサンプルを作り紹介する。</p>
<p>令和4年10月22日</p>	<p>③</p>	<p>11月開催分打ち合わせ及び準備</p>
<p>令和4年11月10日</p>	<p>④</p>	<p>開催当日準備及びサロン開催 11/10:2組4名お申込み 全員参加 《色水サンキャッチャー作り》</p> 
<p>令和4年11月10日</p>	<p>⑤</p>	<p>11/10分振り返り 参加人数が減ってきたので公民館へのチラシ持参を決定</p>
<p>令和4年11月17日</p>	<p>④</p>	<p>開催当日準備及びサロン開催 1組2名お申込み 全員参加</p>

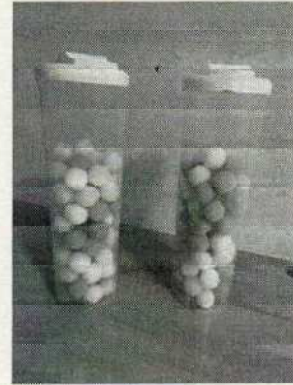
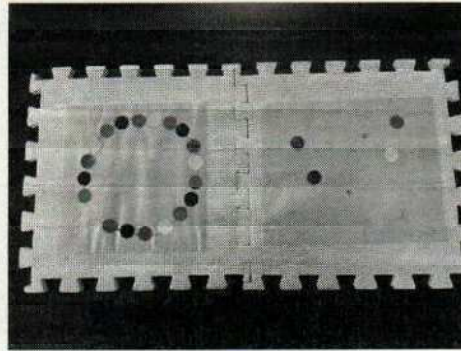
<p>令和4年11月17日</p>	<p>⑤</p>	<p>《色水サンキャッチャー作り》</p> <p>11/17分振り返り 来月様子を見て募集方法を検討し直す 複数回参加を可能とする</p>
<p>令和4年11月25日</p>	<p>③</p>	<p>12月開催分打ち合わせ及び準備</p>
<p>令和4年12月1日</p>	<p>④</p>	<p>開催当日準備及びサロン開催 6組12名お申込み 全員参加</p>
<p>《風船スクイーズ作り》</p>		
<div style="display: flex; justify-content: space-around;">   </div>		
<p>令和4年12月1日</p>	<p>⑤</p>	<p>12/1分振り返り みんなで話す時間を増やす。手遊びなどを減らす。</p>
<p>令和4年12月15日</p>	<p>④</p>	<p>開催当日準備及びサロン開催 2組4名お申込み 1組2名参加</p>
<p>《風船スクイーズ作り》</p>		
<p>令和4年12月15日</p>	<p>⑤</p>	<p>12/15分振り返り 進行順序を工夫することで話せる時間を増やす</p>
<p>令和4年12月17日</p>	<p>③</p>	<p>1月開催分打ち合わせ及び準備</p>
<p>令和5年1月12日</p>	<p>④</p>	<p>開催当日準備及びサロン開催 3組6名お申込み 全員参加</p>
<p>《センサリーマット作り〜ペットボトルキャップ》</p>		
<div style="text-align: right;">  </div>		
<p>令和5年1月12日</p>	<p>⑤</p>	<p>1/12分振り返り 人数が少ない満足感が参加者にあるようだ。</p>

<p>令和5年1月19日</p>	<p>④</p>	<p>開催当日準備及びサロン開催 4組8名お申込み 全員参加 《センサリーマット作り～ペットボトルキャップ》</p>
<p>令和5年1月19日</p>	<p>⑤</p>	<p>1/19分振り返り 次月以降のセンサリーマットの再検討をおこなう（スポンジ⇄シールで確定）</p>
<p>令和5年1月22日</p>	<p>③</p>	<p>2月開催分打ち合わせ及び準備</p>
<p>令和5年2月2日</p>	<p>④</p>	<p>開催当日準備及びサロン開催 5組10名お申込み 3組6名参加 《センサリーマット作り～スポンジ》</p>
		
<p>令和5年2月2日</p>	<p>⑤</p>	<p>2/2分振り返り 次回の取材について再確認をおこなう。人数が多いので混乱しないようにする。</p>
<p>令和5年2月16日</p>	<p>④</p>	<p>開催当日準備及びサロン開催 *さいたま子育て情報局取材あり 10組20名お申込み 全員参加 《センサリーマット作り～スポンジ》</p>
		
<p>令和5年2月16日</p>	<p>⑤</p>	<p>2/16分振り返り 複数回開催することで、前回のおもちゃがどのように使われているのか確認できる。今後の提供に役立つ。</p>
<p>令和5年2月18日</p>	<p>③</p>	<p>3月開催分打ち合わせ及び準備</p>

令和5年3月2日

④

開催当日準備及びサロン開催
8組16名お申込み 4組8名参加
《センサーマット作り～シール》



令和5年3月2日

⑤

3/2分振り返り
保護者の工夫が見られたが、小さいお子さんは月齢特有の重ね貼りをしていたのでシールをもう少し多く用意してすれば良かったかもしれない。

令和5年3月16日

④

開催当日準備及びサロン開催
7組15名お申込み 6組13名参加
《センサーマット作り～シール》



令和5年3月16日

⑤

3/16分振り返り
マット以外の手作りおもちゃも好評だった

令和5年3月21日

⑤

全体振り返り
報告書下書きの確認

事業収支計算書 (計画、交付申請、変更、実績)

<収入>

単位：円

区分		算出根拠	金額
収入合計 (A)		(a) + (b)	47,862
自己資金額 (a)		①~⑥の合計 (d) と同額	0
団体の自己資金	① 自己負担金		0
	②		
	③		
費用の徴収	④		
	⑤		
	⑥		
助成金交付申請額 (b) (助成金収入-100万円以内)		(c) と同額	47,862

<支出>

区分		算出根拠	金額
支出合計 (総事業費) (B)		(c) + (d)	47,862
助成対象経費のうち 助成金限度額を 上回らない経費	① 保険料	全/回開催日親子及び運営スタッフ分	3,456
	② 消耗品費	サロン時使用資材、ペン、ウェットティッシュなど	35,976
	③ 印刷製本費	チラシ5000部(2500部*2回)	8,430
	④		
	⑤		
	⑥		
	⑦		
	⑧		
	⑨		
	⑩		
助成金充当経費計 (c)		①~⑩の合計 (b) と同額	47,862
助成対象経費のうち 助成金限度額を 上回る経費	⑪		
	⑫		
	⑬		
	⑭		
助成対象外経費	事業に附随して 必要な経費 ((c)の10%以内)	⑮	
		⑯	
		⑰	
	事業に附随して 必要な事務局 人件費	⑱	
		⑲	
		⑳	
自己資金充当経費計 (d)		⑪~⑳の合計 (a) と同額	0

※(A)=(B)、(a)=(d)、(b)=(c)となるように記入してください。